

南三陸町議会概要



(平成29年12月版)

南 三 陸 町 議 会 事 務 局

〒986-0725 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田 101 番地

TEL 0226-46-1375 (直通)

FAX 0226-46-5348 (代表)

1. 町の概要

南三陸町は旧志津川町と旧歌津町が、平成15年8月1日に志津川町・歌津町合併協議会（法定協議会）を設置し、合併について協議した結果、平成17年10月1日に新設合併し誕生しました。

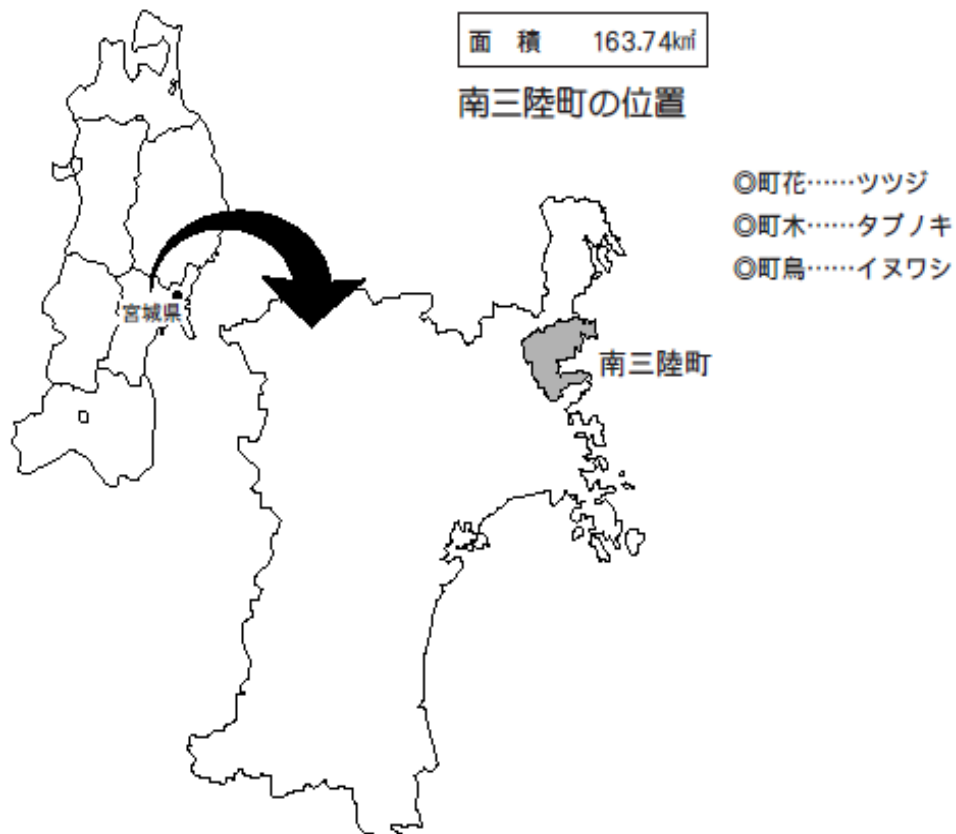
本町は、宮城県の北東部に位置します。東は太平洋に面し、三方を標高300～500mの山に囲まれており、森里海が一体となって豊かな自然環境を形成しています。

また、沿岸部はリアス海岸特有の豊かな景観を有し、三陸復興国立公園の一角を形成しています。

平成23年3月の東日本大震災では津波により800人余が犠牲となった他、町全体の建物の約6割が被災するなど壊滅的な被害を受けました。国内外からの様々な御支援により一步一步着実に復興を進めています。



町制施行（合併）	平成17年10月1日 （合併時人口 19,042人）
人口・世帯数 （平成29年3月31日現在）	13,426人 （男 6,578人） （女 6,848人） 4,577戸



【位置・地勢】

南三陸町は、宮城県北東部に位置し、馬蹄形の形はリアス海岸特有の猛々しい風光を有する三陸復興国立公園の一角を形成しています。東は太平洋に面し、北は気仙沼市、南は石巻市、西は登米市にそれぞれ接しています。

面積は、163.74 k m²、東西約 18 km、南北約 18 kmで、北上山地の支脈の東南にあり、北・西・南西の三方を山に囲まれています。太平洋に向かって開けた東側に向かって、山麓部から開析された海岸段丘を経て海岸部に至っています。海岸部は日本有数の養殖漁場になっています。

気候は、太平洋岸に位置するため、海流の影響により夏は涼しく冬は雪が少なく、比較的温暖な地となっています。

2. 議会の概要

(1) 議員数

区 分	人 数
条例定数	16 人
現員数	16 人

(2) 議会構成

議会	委 員 会 名		委員数
	常任委員会	総務常任委員会	
産業建設常任委員会			5
民生教育常任委員会			5
	議会運営委員会		6
特別委員会	議会広報特別委員会		6
	東日本大震災対策特別委員会		1 5
	町営住宅使用料等調査特別委員会		1 5
	議会活性化特別委員会		1 5
	三陸沿岸道路整備促進特別委員会		1 5

(3) 常任委員会及び議会運営委員会

① 常任委員会

名 称	所 管	定 数
総務常任委員会	・町政振興、防災、財務、税務、庶務及び他の常任委員会の所管に属さない事項	5 人
産業建設常任委員会	・産業経済、建設及び上下水道に関する事項	5 人
民生教育常任委員会	・民生、保健、医療、教育及び環境に関する事項	5 人

② 議会運営委員会

名 称	所 掌	定 数
議会運営委員会	・議会の運営に関する事項 ・議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項 ・議長の諮問に関する事項	6 人

(4) 特別委員会

名 称	特 別 事 項	定 数
議会広報特別委員会	・ 議会広報及び公聴に関する調査	6 人
町営住宅使用料等調査特別委員会	・ 町営住宅の使用料等に関する調査	15 人
東日本大震災対策特別委員会	・ 東日本大震災対策に関する対策	15 人
議会活性化特別委員会	・ 議会活性化に関する調査	15 人
三陸沿岸道路整備促進特別委員会	・ 三陸沿岸道路の整備促進に関する調査	15 人

(5) 議員名簿

議 長 三浦 清人 (平成29年11月13日就任)

副議長 山内 昇一 (平成29年11月13日就任)

議席	氏 名	常任委員会	
1	須 藤 清 孝	民生教育	
2	倉 橋 誠 司	産業建設	
3	佐 藤 雄 一	産業建設	
4	千 葉 伸 孝	民生教育	
5	後 藤 伸 太 郎	総 務	
6	佐 藤 正 明	産業建設	
7	及 川 幸 子	産業建設	
8	村 岡 賢 一	産業建設	
9	今 野 雄 紀	民生教育	
10	高 橋 兼 次	民生教育	
11	星 喜 美 男	総 務	
12	菅 原 辰 雄	総 務	
13	山 内 孝 樹	民生教育	
14	後 藤 清 喜	総 務	
15	山 内 昇 一	総 務	
16	三 浦 清 人		

- 任期：平成29年11月6日～平成33年11月5日
- 定数16名

(6) 平成29年度議会関係当初予算

(単位：千円)

節	予算額
1 報酬	45,360
2 給料	11,208
3 職員手当等	20,314
4 共済費	21,292
5 災害補償費	1,775
7 賃金	1,315
8 報償費	10
9 旅費	7,110
10 交際費	300
11 需用費	3,410
12 役務費	10
13 委託料	2,800
14 使用料及び賃借料	680
19 負担金補助及び交付金	920
合計	116,504

(7) 本会議開催状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

会 期		会期日数	本会議数	傍聴者数
定例会	6月(6/16～6/22)	7日	4日	32人
	9月(9/3～9/18)	16日	7日	30人
	12月(12/8～12/14)	7日	5日	14人
	3月(H28 3/3～3/23)	21日	7日	37人
	小計	51日	23日	22人
臨時会	5月(5/15)	1日	1日	15人
	7月(7/15)	1日	1日	6人
	8月(8/11)	1日	1日	4人
	10月(10/14)	1日	1日	4人
	11月(11/20)	1日	1日	5人
	2月(H28 2/8)	1日	1日	5人
	3月(H28 3/29)	1日	1日	3人
	小計	7日	7日	42人
合計		58日	30日	140人

(8) 議案処理状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	提出議案種別	件数	条例	予算	決算	契約	財産	承認	報告	選挙	選任	その他	意見書
6月	町長	19	6	2		2			5			4	
定例会	議員												
9月	町長	42	10	7	11	2	4		2			6	
定例会	議員	2										1	1
12月	町長	31	9	4		3	5					10	
定例会	議員	2											2
(H28)3月	町長	54	10	18		17	3					6	
定例会	議員												
臨時会 (7回)	町長	60	5	7		19	15	3				11	
	議員	1									1		
合計	町長	206	40	38	11	43	27	3	7			37	
	議員	5									1	1	3

(9) 質問

一般質問 (延べ 26 人) 延べ 50 件

緊急質問 (延べ 0 人) 延べ 0 件

(10) 委員会等の開催状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

委員会等の名称	人数	開催日数		
		会期中	閉会中	計
総務常任委員会	5人	4	10	14
産業建設常任委員会	5人	3	8	11
民生教育常任委員会	5人	3	8	11
議会運営委員会	6人	5	15	20
議会広報に関する特別委員会	6人	4	16	20
三陸縦貫自動車道建設促進に関する特別委員会	15人	0	1	1
議会行財政改革に関する特別委員会	15人	3	5	8
東日本大震災対策特別委員会	15人	1	5	6
計	—	23	68	91

3. 平成29年度当初予算

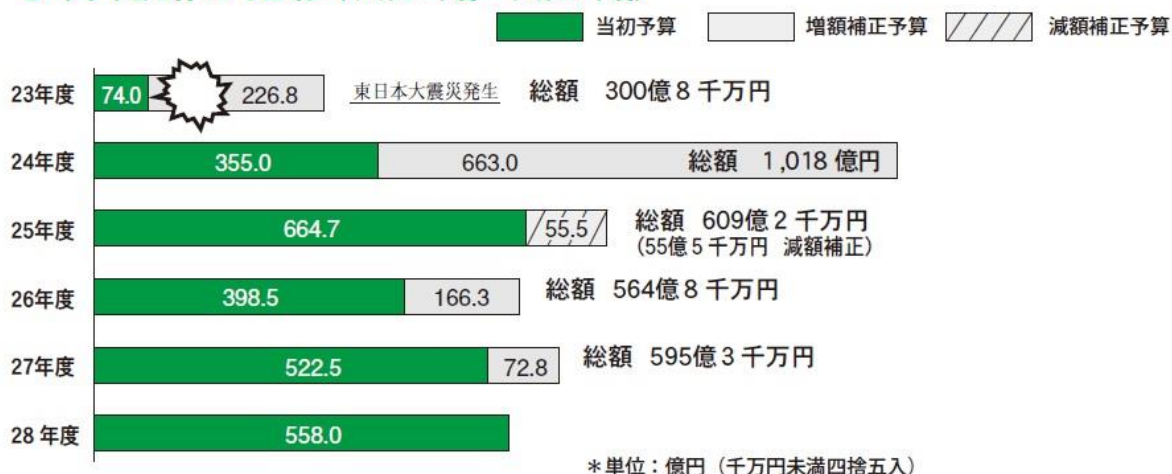
(1) 一般会計

(単位：千円)

歳入		歳出	
1. 町税	1,237,851	1. 議会費	116,504
2. 地方譲与税	65,001	2. 総務費	2,623,041
3. 利子割交付金	1,000	3. 民生費	2,617,971
4. 配当割交付金	3,100	4. 衛生費	1,079,725
5. 株式等譲渡所得割交付金	3,200	5. 農林水産業費	1,547,236
6. 地方消費税交付金	188,000	6. 商工費	363,675
7. 自動車取得税交付金	17,000	7. 土木費	741,126
8. 地方特例交付金	4,000	8. 消防費	575,540
9. 地方交付税	9,146,000	9. 教育費	1,063,012
10. 交通安全対策特別交付金	1,500	10. 災害復旧費	6,290,276
11. 分担金及び負担金	20,089	11. 公債費	1,296,129
12. 使用料及び手数料	139,177	12. 復興費	13,382,742
13. 国庫支出金	5,355,285	13. 予備費	53,023
14. 県支出金	2,688,266		
15. 財産収入	287,544		
16. 寄附金	140,003		
17. 繰入金	10,316,467		
18. 繰越金	160,000		
19. 諸収入	439,393		
20. 町債	1,537,124		
合計	31,750,000	合計	31,750,000

平成29年度の一般会計予算総額については、国の復興交付金を財源として実施している「災害公営住宅整備事業」、「防災集団移転促進事業」等が完了したことから約247億円と大きく減額したことなどの理由により、前年度比43.1パーセント減の317.5億円となっている。

予算総額の推移 (平成23年度～平成28年度)



(2) 特別会計

(単位：千円)

会計区分	予算額
国民健康保険特別会計	2,785,000
後期高齢者医療特別会計	136,600
介護保険特別会計	1,650,000
市場事業特別会計	33,400
漁業集落排水事業特別会計	35,000
公共下水道事業特別会計	282,000
水道事業会計	1,133,775
病院事業会計	2,151,334
訪問看護ステーション事業会計	48,010
合計	8,255,119

特別会計は、国民健康保険特別会計における後期高齢者支援金等の負担増に伴い、対前年度比で増額となっている。

企業会計では平成29年度の水道事業会計においては、給水件数・年間総給水量とも業務の予定量の増加を見込んだことから、料金収入について対前年度比で増額となり、災害復旧事業に取り組むための建設改良費は減額となっている。

また、病院事業会計については、開院後の入院患者数及び透析患者数等が順調に推移しているため事業収益の増額を見込んでいるものの、一定水準の医療サービスを提供するための人員確保による支出が増額となり、収支均衡予算となっている。

市場事業特別会計は、町で開設している地方卸売市場の運営経費等に充てられている。地方卸売市場は震災以降仮施設で稼働していたが、昨年6月に高度衛生管理型の市場として再建している。

4. 議会と住民との懇談会について

本議会では、議会行財政改革に関する特別委員会を平成18年に設置しており、平成22年からは現在の形での「議会と住民との懇談会」を開始した。

平成23年の震災の影響で一時開催を見送っていたが、平成26年から再開し昨年は3班に分かれ町内外9カ所を会場に、住民の方々との距離をさらに縮めていくことを目標に懇談会を開催し、議会活動や復興事業の進捗状況を報告するとともに、多くのご意見、ご要望を伺った。

○議会と住民との懇談会開催状況（平成27年）

11月7日(土)	11月9日(月)	11月10日(火)
平成の森 3人	津山公民館(登米市) 11人	志津川中仮設住宅集会所 17人
中瀬町仮設住宅集会所 24人	南方仮設住宅集会所(登米市) 30人	入谷公民館 12人
入谷復興住宅集会所 12人	吉野沢仮設住宅集会所 16人	旧戸倉中仮設住宅集会所 4人
合計 129人 (前年 80人)		

○質疑件数

- A：懇談会の会場で回答又は処理した事項・・・49件
- B：検討課題とする事項・・・・・・・・・・32件
- C：議会として検討すべき事項・・・・・・・・5件
- D：執行機関へ通知し、回答を要する事項・・・37件

○質疑内容

- ・新病院の開院に当たり、今までの不便は解消されるのか。
- ・BRTと鉄路復旧について。
- ・人口減少・若者の雇用対策のため、企業誘致に注力してほしい。
- ・財政面などで子供たちに問題を残さないよう考えてもらいたい。
- ・災害公営住宅の設備改善について。
- ・通学路・道路の交通安全対策について。
- ・移住人口獲得へ向けての対応は。
- ・復興事業の遅れへの対策は。

注) 一部集計未了のため、平成27年度の実績を記載しておりますので、ご了承ください。